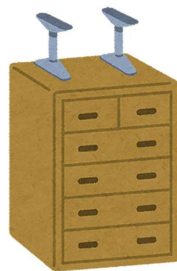


避難訓練に参加できない場合も、家庭でできる防災訓練として次の項目を実施してみましょう

1 災害発生時の安全確保

例) 部屋の安全を確保する(家具転倒・落下・移動防止、ガラスの飛散防止など)



2 避難する場所とその避難方法

例) 事前に避難する場所と避難方法を家族の人と確認する
安否確認方法を決めておく



3 避難所での生活における最低限必要な物の確保

例) 非常持ち出し品や薬などを準備する



日常備蓄をはじめませんか

災害時のために、消費期限の長いアルファ米や飲料水を準備しておく必要はありません。飲料水を多めに買っておくだけで『日常備蓄』という備蓄品になります。

普段、食べている乾麺や缶詰、レトルト食品を多めに購入し、常に余剰があるようにするだけで備蓄品として使えるようになります。

乳幼児や高齢者がいる世帯は、状況に合わせて生活に必要な物を多めに備えておきましょう。食料の他にも、カセットコンロや簡易トイレなども準備しておきましょう。

日常備蓄品の一例

- | | |
|--|--------------------------------------|
| ☐ パックごはん | ☐ 飲料水 |
| ☐ 乾麺(そば・うどん・パスタ) | ☐ カセットコンロ |
| ☐ レトルト食品 | ☐ カセットコンロ用ボンベ |
| ☐ インスタントラーメン・カップみそ汁 | ☐ 簡易トイレ |
| ☐ 缶詰 | |
| ☐ ビスケット | |
| ☐ チョコレート | |



御供山津波避難階段設置工事等の工期延長のお知らせ

御供山観光階段の老朽化に伴い、『御供山津波避難階段設置工事』および『御供山避難広場等整備工事』を令和2年9月末までの工期で進めていましたが、次のとおり工事期間を延長します。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

●期間/令和3年3月末まで(予定)

●場所/厚岸町松葉・御供

※期間中であっても災害発生時に避難が必要な場合は、通行することができます

※御供山展望台についても期間中は通行することができませんのでご了承ください

※重要な事業・政策のために階段の利用を希望する場合についてはお問い合わせください

●問い合わせ/危機対策係

